

入間わかくさ高等特別支援学校



＜地域に広がる学びの場を通じた教育課程の実現＞

学校の特徴	埼玉県内唯一の普通科と職業学科併設の高等部単独の特別支援学校として、学習活動の場を地域にも求めることで「学びながら働く、働きながら学ぶ」を実践し、生徒の「自立と社会参加」目指しています。				
所在地(市町村名)	入間市	生徒数	343名（普通科179名・職業学科164名）	活動期間	5年8か月
活動内容	校舎内併置の「カフェ」での接客サービス、地域の学校や施設での清掃活動、幼稚園等への縫製製品の提供等、職業学科の専門コースごとに地域とのつながりの中で学びを深めています。普通科では、毎年、「児童虐待防止」のシンボルのオレンジリボンを作成し、入間市へ寄贈しています。				

特徴的な活動



「カフェ わかくさ」でほっと一息・・・

「カフェわかくさ」での接客を通して、生徒は「おもてなし」の学びを深めています。地域へのピラ配りや、「赤ちゃんの駅」や「パパママ応援ショップ」への登録等で集客を伸ばしてきました。生徒が「自分たちのカフェ」として、様々なアイデアを出し合いながら、地域の皆さんに愛されるカフェに成長してきました。



「コロナに負けないで！」の思い届け！服飾デザインコース

幼稚園児達にエールを送る気持ちで作った布製マスク。園児たちからのお礼のお手紙に生徒たちも笑顔になりました。生徒からは、会えなくても「お互いががんばろう」という言葉も聞かれました。



「広がれ！児童虐待防止への願い！」オレンジリボン寄贈～校内実習（普通科）

11月の「児童虐待防止月間」での配布を目指して、10月の普通科の校内実習でオレンジリボンの製作を行い、毎年入間市に寄贈しています。今年度は、3500個寄贈することができ、本校の学区の5市（入間市・所沢市・狭山市・飯能市・日高市）にもその輪が広がっています。



「気持ちまできれいさっぱり」わかくさメンテナンスコース

近隣の学校や施設の依頼を受けて、清掃活動を行っています。地域の方々からいただく感謝の言葉で、生徒達は、より一層やる気が増して、「また次もがんばろう！」という気持ちにつながっています。「人の役にたつこと」「人に感謝される」ことで生徒たちは成長しています。